

令和5年4月13日

4月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産、入荷とも順調。市況が悪いため間伐に変える森林組合も出ている。工場筋の原木引き取りが遅くなり、共販所の土場を圧迫している。スギ材は3m小径材、柱材とも大きく値下がり、中目材は量が少なく弱保合。ヒノキ材も全体的に値を下げている、とくに4m中目材の値下がりが大きい。

群馬県でも原木入荷は順調で価格は全面的に下降傾向。角類の引き合いがあり、ヒノキKD土台、スギ柱、スギ母屋、桁の荷動きは良い。首都圏市場からの受注は少なく、土木用材の受注も停滞気味である。製品在庫は中貫、小貫が増加しているが角類は少ない。製品価格は下落傾向にあるが、一段落した雰囲気もある。

2. 米材

米国内の製材品価格の下落に起因した米加製材工場の相次ぐ減産により原木需要も減少。それに伴い産地原木価格も緩やかに下落中。大雪等の冬場特有の伐採阻害要因は起こらず、伐採は順調に推移しており、米国の港頭在庫は潤沢である。米マツ IS 級並の4月積み対日輸出価格は前月比\$30下げの\$940/千SCRで決着した模様。一方、カナダBC州内では製材工場の原木需要が弱く、また立木価格も下落傾向にあることから第1四半期の伐採活動は低調であった。このためBC州の港頭在庫は低水準であるものの、原木輸出には支障のない水準になっている。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(4/4)は\$414/M、3月頭に比べ0.2%の下落。

2月原木入荷は130千 m^3 と前月比で大幅減、とくにカナダからの輸入は15千 m^3 と大きく減少。出荷は133千 m^3 となり、前月比で大きく減少。在庫は微増し147千 m^3 となり、在庫率は0.89ヵ月と1ヵ月を下回った状態が続いている。住宅着工(持家)の不調により製材需要が減退し、国内挽き製材品への引き合いは低調である。国内の米材製材最大手が欧州材価格を意識し、2月に続き4/1に正角、平角の再度値下げを表明。東京木材埠頭の3月製品入荷は9千 m^3 (前月比21.2%減)、出荷は13千 m^3 (同14.1%増)、在庫は27千 m^3 (同14.1%減)。小割の代替樹種としてスギ材が採用されており、樹種変更による米材離れが起きている。

3. 南洋材

サラワク州では3月に天候は回復したが、南部で依然降雨がある。しかし伐採林区が少なく、出材の影響は限定的である。これから乾期になり出材環境は整ってくる。主な供給先はインドであり、他の地域（サバ、スリナム、ソロモン）からの買いも多い。現在、供給過剰で調整局面に入っており、価格は\$10~20/m³の値下がり。PNG、ソロモンでは3月下旬まで雨期が明けず出材は低調。3月最終週から雨期明けの兆候が見え始めた。サバ州からの日本向け第1船は2月に約3千m³が出港、次は6月の予定。4月予想の原木入荷7千m³、出荷7千m³、在庫8千m³。製材品入荷は25千m³。フリー板市場は依然悪いが、安値での在庫処分の動きは見られない。

4. 北洋材

シベリア産地では伐採最盛期は終了。昨年末の港頭在庫の減少により日本側からの注文が入ったが、一向に日本の市況が回復せず、日本側の注文も再度減少。産地側は日本側の値下げ要請に応じられる体力はない。また空コンテナ不足が顕著で長引けば、産地からの供給力の低下が懸念される。アカマツ原板は今後伐採が減少するため、オファーのある物は手当てせざるを得ない状況。アカマツ完成品も産地側のインフレ等コストアップで価格の下げ余地はない。国内市況は3月決算処分品等の投げ売りもあり混乱気味。国内製材工場では需要減少に加え、商社の撤退で直輸入部分が増え、資金負担も大きく厳しい。2月の製品入荷（東京+川崎）は11千m³と増加、3月はさらに増える予想であるが、現地のコンテナ不足で入荷は遅れ気味。出荷は13千m³で依然迫力がない。在庫は52千m³で大底の水準であるが、3月は在庫増に転じる見込み。

5. 合板

合板メーカーは4月も減産を継続する。国産原木の受入制限によって仕入価格は下げていない。原木在庫増のため素材生産業者は生産調整を行っているが、それでも供給が上回り原木市場や共販所の価格は軟化。

2月の国内合板生産量は18.7万m³、うち針葉樹合板は18.3万m³、出荷量は18.2万m³で在庫量は17.0万m³、うち構造用合板の在庫は15.0万m³と前月より増加し、高水準が続いている。針葉樹合板は決算期末で引き合い乏しく、価格は軟調。在庫整理が一巡する4月以降は荷動きの回復が見込まれるが、ボリュームディスカウントで価格はもう一段下がる可能性がある。ただしメーカー在庫が減少すれば底入れ反転の機運が高まるだろう。輸入合板は港頭

在庫と受注残の増加を背景に入荷は昨年9月から減少局面にあり、3月の入荷も低水準と見られるが、出荷も鈍いため、港頭在庫は極端には減っていない模様。市況は全般的に弱気で推移すると見られる。2月の合板輸入量は14.6万 m^3 (前月比3.6万 m^3 減)で、マレーシア以外の主要国からは微減しているが、中国産がピーク時より大幅に減少、針葉樹合板は2,689 m^3 (12mm換算13.4万枚)。産地の受注状況は依然低調。伐採業者は合板工場からの買いが止まっているため、新規伐採は停止しており、原木の流通在庫はかなり減少している。今後、伐採業者・合板工場では事業停止や工場閉鎖が出てくる可能性もある。

6. 構造用集成材

昨年第4・四半期契約のラミナが順調に入港。各社の契約量は通常の6割程度に落としており、入荷量は少ない。今年第1・四半期契約は€280/ m^3 程度、第2・四半期契約は€50~60アップが予想されている。3月時点のラミナ入港価格は47,000円/ m^3 程度。ラミナの先高感はあるが、集成材価格は需要減もあり弱含み。輸入集成材は1月に引き続き低水準の入港量である。2月の流通価格は82,000円/ m^3 。国内集成材メーカーでは在庫調整が進んでいること輸入ラミナの契約量を減らしていることから、先行きの受注は上向くと見られる。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強いが、入荷が低調で慢性的な原木不足感が強い。解体材は発生、入荷ともに良くない。大手製紙・ボード会社で4月より購入価格の値上げの動きがある。製紙用は春先から夏場にかけて大手製紙会社の大型定期修理が連続し、消費量は減少の見込み。同様に燃料用も大型定期修理により消費は減少傾向。在庫は若干の積み増しは可能であるが、長期的には不足感が否めない。

8. 市売問屋

外材製品の値下がりにより国内大手のスギ集成柱が値下げし、つられてスギ、ヒノキのKD柱も安くなっている。全体的に値下げムードが強い。天候も良くなり製品は順調に入荷しているが、林場に材が貯まる状況である。構造材は国産材、外材とも荷動きは悪いが、スギ一等材の造作材の荷動きが良い。

9. 小売

首都圏では木材、建材の荷動きが低迷している。2月から実需の落ち込みが激しく、3月も期末の処分売りを警戒して当用買いが目立った。注文住宅も厳しい状況で材木店の仕事量は少ない。国産材構造材は弱気ムードでスギ、ヒノキKD柱角は下落している。外材では米マツ製品やRW集成材は在庫調整に手間取り、価格は弱含み。WW集成柱も内外産でシェア争いが激しく、国産材

集成柱の価格競争も加わり、弱含みの展開が続いている。米ツガ造作材の高騰でスギ造作材（一等材）への転換が活発である。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	→	→	→
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注) 北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↘
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↘
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗		
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↘
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘